



**福田 昌弘【所長】**  
(ふくだ まさひろ)

### 今年の甲子園

今年の甲子園は、数年ぶりに声出し応援・ブラスバンド演奏OKという事もあり、仕事が休みの日は、ほぼ一日中TVでずっと見てしまいました。(ビールを飲みながら♪)ちなみに、私自身も小・中学校の部活でバリバリ坊主頭の野球少年でしたので(その後、高校時代は念願の帰宅部♪、大学でまた無性に体を動かしたくなり、体育会空手道部の経歴です。)、甲子園球児の全力プレーは見ていてホントに気持ちが良い、忘れていた何かを思い出させてくれます!  
20代の頃に一度、夏の甲子園を生で見ましたが、またいつの日か大阪に足を運んで全力で応援したいと思いました♪



**加藤 忠志**  
(かとう ただし)

### やっと出番が

前回、まち便りを配った後の大雨や台風の影響で使う機会がありました、使って見たら、思っていたのとは違い、便利なことと、不便なことがありました。

便利なところは車に乗った時に周りの物が濡れないところです。

不便なところは傘立てにしまえず、傘置き場に置けない事です、一緒に置くとビショビショになり使うときに残念になります、それと普通の傘に比べて骨組みが多く少し重たいのが気になります。気になる方は使ってみてください。



**尾上 亮**  
(おのうえ りょう)

### 行きつけのレコード屋が

行きつけのレコード屋が坂戸から川越に移転をしたので遊びに行ってきました。お店自体は以前よりもコンパクトになりましたが、予約を取れば3階のメンバーズルームで膨大な中古レコード(一部新品あり)を物色することもできます。オーナーからも『お店紹介してもいいよ〜』と許可を貰いましたので、紹介させていただきます。『目瑠璃堂』という店名で場所は『川越市連雀町22-7』になります。

観光客の多い川越と言うこともあり、ふらっと立ち寄り方も多いようです。川越に行ったら、ぜひお立ち寄り下さいませ。



**波田野 正**  
(はたの あきら)

### 自然災害に対策を!

今年は2015~2016年以来の強さとなる「エルニーニョ現象」、2019年以来の強い「インド洋ダイポールモード現象」が発生する見込みとの事で、例年より台風の発生総数が多く、勢力の強い台風がくる可能性があるそうです。私も今年、家族が自然災害の被害に遭いました。

皆さんも今一度、指定避難所・指定緊急避難場所の再確認をしてみましょう!



気象庁HP



埼玉県HP

「自分で言う災害への備え」 「避難場所・避難所」

レバるくしのまち鴻巣市裏面コラム しゅがーいすむ

# 基本理念は スイーツの魔法

秋晴の候、いやいくら時候の挨拶とはいえ連日のこの気温と日照りで秋だなんてまあ嘘をおっしゃい!などと感じる折に、偽りあらざる豊穰の妙味を以て季節の足音を奏でたるものは…そうです、甘いものです!

写真は、鴻巣市の筑波2丁目に居を構えます、音音かふえ(おとねかふえ)さんの『デザートセット』です。何だか見ているだけでご利益がありそうなほど絢爛極まる外観…!そんなこちらのセットの内容は、好みのケーキ2種、自家製プリン、セットドリンクで、黒沢は白桃バスクチーズケーキ、かぼちゃのタルト、そしてローズヒップティーで注文しました。…桃のチーズケーキを2ヶ月連続で食べている点については目をつぶって下さいませ。さて、2つ並んだケースの右側が件の白桃バスクチーズケーキなのですが、まず感じたのがタルト生地の香ばしさ。『土台としてのみの存在』で終わらず、確かな歯応えと共に生地の風味が感じられ、それがチーズと桃の異なる酸味と合わさることで、一口の中に多種多様の味が展開されていく様です。そしてまたそのバランスが絶妙…!何口食べても飽きることがなく、いつの間にかお皿の上から消失する様はさながら神隠しです。そしてその隣のかぼちゃのタルト、店員さんをして『腕が太くなっちゃう』と言わしめるほど丁寧に丹念に執拗に徹底的に裏ごしされたかぼちゃが、それはもう想像を絶する濃厚さと舌触りの滑らかさで、まるで凝縮された『かぼちゃの美味しさという概念』そのものをぬっとり直接脳髄に染み渡らんとしてくるかの様でした。非常にパワフルかつ重厚ながらもくどくない繊細な味付けの一品で、あれよあれよとスプーンが進み、気がつけばこちらのケーキも神隠しに遭ってしまいました。そして最後に自家製プリン。この時自分は、運良く仕入れられたという川島町の高級卵を使用した、言ってしまうと最強の状態のプリンを食べることが出来たのですが、その風味と濃厚さたるや…!!クリームやフルーツ、カラメルなど、味に彩りを加えるサブコンテンツもある中で、堂々とメインコンテンツとして君臨できるプリン本体に、この世にこんなに美味しいプリンの存在って許されるの!?などと畏敬の念を感じながらスプーンを動かしていたら、さっきまでそこに居たプリンもやっぱり神隠しに遭ってしまいました。それでもって気がついたらローズヒップティーも居ない!!

周りがどんどん神隠しに遭い気がついたら自分一人なんて状況は、ともすればホラー映画の主人公じみていますが、音音かふえさんの店内は非常に和気藹々としておりホラーのホの字もございません。店員さんや他の常連さん達も、新参者の黒沢にフランクに話しかけてきて下さり、その人と人の距離の近さと温かさが美味しいスイーツを更に美味しくしているのかもしれないね。とかく、会話が好きな人であれば何時間でも入り浸れそうな居心地の良さがある素敵なお店にて、皆様も日々の暑さにうだりそうな心を心地よく躍らせる時間を是非…!



黒沢 紫雲  
(くろさわ しうん)